

株主のみなさまへ

第31回定時株主総会招集ご通知

平成30年3月31日

株主のみな様、いつもご支援いただきありがとうございます。

当社第31回第30期の定時株主総会を下記の通り開催しますのでご出席下さいますようお願いいたします。

当日来られない方は、お手数ですがこの資料に記載された内容を参考に、同封の議決権行使書兼出欠確認ハガキを利用いただき 記名押印の上、総会前日までに届くようにご返送をお願いします。

記

- 1 日時 平成30年**4月28日 土曜日** 午前11時00分より
- 2 場所 只見町大字楢戸字寺田704 **cafe & gallery 蘭** 0241-84-2080
- 3 会議の目的事項
 - 報告事項 平成30年1月期の営業報告 会計書類の説明
 - 決議事項 第1号議案 1.損失金処理案 全額を翌期に繰り越すものとする
 - 株主総会参加者には30周年記念品として 当日 店舗・文庫館の
文庫本30冊 又は単行本10冊をプレゼントします。

<営業報告書>

古書籍の仕入れはNHK「小さな旅」で紹介された事により、大きく伸びましたが販売はネット通販事業の強化と取り組んだものの、売上げを伸ばすことはできませんでした。バイオマス発電用地として たもかく株式会社の土地や間伐材を購入したいという申込があり、実現したいと取組みましたが、成果には結びつきませんでした。一昨年に火災で亡くなられた、只見町長浜沢地区のお客さまの火災焼け跡の片付け清掃の手配を、裁判所から選定された相続財産管理人から依頼され、みんなの森協同組合とともに新しいお客さまに使っていただくための一連の仕事と取組み、無事に引渡しまで完了しました。大雨の被害で長浜苗畑の道路と排水路の一部が流出し、道路については只見町が応急の復旧工事を行い、排水路についてはたもかく株式会社が利用者の一員として工事費を負担し、無報酬で復旧工事の手配に取組み、年度内に工事が終了し利用可能となりました。30年経過し、未相続や連絡先不明などで連絡のつかないお客さまや過去に工事代金が未払いのままのお客さまについては復旧工事の対象から除外せざるを得ませんでした。今後連絡がつき利用希望がある場合は共用部分の割り勘分を支払ってもらい個人分の配管工事を自己負担で行ってもらおう対応をする予定です。一昨年に倉庫事業用に取得した長浜の空家は、昨年に引き続きお客様を確保できず、売却も賃貸もできないまま不稼働在庫となりました。

2018年1月期が創業30周年となるため、記念事業や記念商品などの提案を株主やお客さまから募集し、東北大地震のような大規模災害があった時に、会社の所有する土地や建物を優先的に利用できる避難先として利用できる種類株式を募集するという提案をいただきました。発行株式数の変更や定款の変更の機会に合わせて早期に実現して行きたいと考えています。引き続き提案を募集しています。

取り扱っている古書籍や山林の30%割引セールなども見当していますが、これまで購入していただいたお客さまとの平等性やセール終了後の反動減など、慎重に検討し、お客さまや株主のご意見をお聞きしながら実施して行きたいと考えています。

10年前の資金繰りの困難な時期に買戻し特約つきで株主の古書店に購入していただいていた文芸館は買戻し期限となったため、2019年までの2年間の分割払いと代金の一部を古書籍で支払う条件で買戻しました。

期中に長浜出身者の未相続山林14筆約5000坪を取得し、地元山林所有者との交換用地として交換や売却の交渉を行いました。成立は交換1件売却1件にとどまりました。今後時間をかけて販売や交換の実現に結びつけて行く予定です。

岐阜県のお客さまから岐阜地方裁判所に「1反の森とらすとの買い戻しを山林の価格が契約時の価格を下回っている場合は、元金の25回払いで登記料お客間負担に変更した事は無効であり、契約当時の印刷物等に記載されていた元金の3倍の150万円を支払え」という内容の訴訟を提訴されましたが、制度の変更を告知してすでに13年経過しており、変更を承諾して解約されたお客さまとの公平性や信義からも受け入れられないと答弁し、2度の裁判により、他のお客さまと同じ25ヶ月の期間の分割払いでの解約に裁判の費用のうち訴訟にかかった印紙代と切手代に相当する額2万円を解決金として支払うという条件で和解が成立しました。今後同じような訴訟を提起された場合は、他のお客さまとさらに平等となるよう対処して行きたいと考えています。

昨年度からカメラ付きGPSを購入し、入会地の位置情報や山菜、キノコの位置情報、映像をホームページやfacebook・ヤフーブログなどに随時掲載する事を企画していましたが、期中には実現できませんでした。

2017年1月期は、売上げは12,621,412円と前期の16,465,120円から384万円減少し、引き続き資産や資本金に比較して極めて低いレベルにとどまりました。

当期株式の募集と移動状況について

2018年1月期は1株8万円で50株の自社株式売り出しにより、新しい株主を募集し4名5株の応募がありました。また今期は前期から引き続いての譲渡希望も含め、14名の株主から147.46株、希望譲渡価格1株 20930円から55000円 1株あたり平均譲渡希望価格37076円で株式譲渡希望がありました。今期は譲渡の成立は5株 2名義から既存株主1名義、新株主1名義計2名義への譲渡が成立しました。相続手続きは1名義から1名義1件でした。

期末の株主総数は611名 発行済み株式総数6642株、前年度からの株主総数の増加は4名でした。

入会地の状況

当社は都会のお客さまや株主の皆様は プナ.ナラ.クリ.トチ.ホオなど 落葉広葉樹の雑木林で、山菜採りやキノコ狩り、木の実拾いや散策をして楽しんでもらうという事業目的で営業を続けてきましたが、2018年 1月期も原発事故の風評被害などの影響により入会地を利用するお客さまは極端に減少したまま回復しませんでした。このため秋のイベントきのこ山は申込が無く中止しました。また只見町森林組合や地元造林会社ヤマイシとのあいだで福島県の補助事業による、間伐や下草刈りは長浜地区や布沢地区で大規模に実施してもらう事ができましたが、これ迄はたもかく株式会社直接発注で実施していた長浜入会地の間伐は、資金不足で栗林のみの委託にとどまったうえ、委託していた作業者の急病や入院などもあり、極めて小規模な面積の間伐にとどまりました。見かねた株主がボランティアで入り口近辺の下草刈りを無償で実施して下さいました。

たもかく本の街の状況について

2018年1月期のたもかく本の街の事業は、ネット通販の強化と取り組みましたが、特記すべき成果にはいたりませんでした。設備投資や設備の売却はありませんでしたが、10年前に資金不足から株主の古書店に買い戻し条件付きで購入していただいていた新書文庫館を買い戻し期限到来により買い戻しました。

TVでの紹介は先の営業の概況にも記載しましたNHKの「小さな旅」により、本の仕入れは大きく回復しました。今期は新聞による紹介は無く、東海大学出版部発行の月間雑誌「望星」4月号特集「やっぱり本屋さんでなくちゃ」で本と森の交換事業の紹介をしていただきました。

会社と事業の継続と変動のリスクについて

たもかく株式会社は1988年の創業時から、2000年までの株式公開をめざし、バブル崩壊やリゾートブームの終焉などにより実現が難しくなってからは株式公開企業との提携や子会社関係会社になる事により株式の所有価値、換金価値を高めて山林の買収や活用などをしやすく事業価値や評価を高めたいと考え続けてきました。

リーマンショックや原発事故などもあり、実現は難しくなる一方で、事業の継続に対するリスクも高まっています。以前から株式を山林や在庫書籍と交換したい方には代金の株式による代物弁済という対応で実現をしてきましたが、今後は山林や在庫リストや在庫本棚写真の作成などより利用しやすいわかりやすい仕組みにして行きたいと考えています。